

● 食物栄養学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

(A) カリキュラムの実施について

- ① 「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践を踏まえて授業を行います。
- ② 社会人基礎力の能力要素が獲得できるような授業を行います。
- ③ 知識を活用した p i s a 型学力を修得するための授業を行います。

(B) カリキュラムの編成について

(B-1) カリキュラム編成の基本方針について

- ① 教育課程は、学則及び栄養士法及び同法施行令・施行規則で定められています。
- ② 履修科目は、大きく基礎科目と専門科目で編成されています。
- ③ 授業形態には、講義、演習、実験・実習の3種類あります。実習には学外実習も含まれます。
- ④ これらの科目を体系的に配置して、高い教養と実践的な専門的知識・技能を修得できるようにカリキュラムを編成しています。

(B-2) 教養教育プログラムについて

食物栄養学科においては、生物・化学の基礎的知識・技能が不可欠です。そのための基礎教養を高めるために「科学概論」や「生命科学」の科目を設けています。

(B-3) 専門教育プログラムについて

栄養士資格については法規定に基づき必要な科目を、また医療事務に関する科目については各団体が認定基準として定める科目を設けています。

(B-4) 初年次教育プログラムについて

入学後、学生が短期大学教育に馴染めるように「特別演習」や「無限の可能性開発講座Ⅰ・Ⅱ」の科目を設けています。

(B-5) キャリア教育プログラムについて

社会的・職業的自立に向け、人生観や勤労観を養うための科目「キャリアデザイン」を設けています。

(B-6) リメディアル教育プログラムについて

大学の教育を受けるために必要な日本語文書の書き方、基礎的数学力などの補習教育（リメディアル講座）を実施しています。また、授業後など時間外で個別指導を実施しています。

(C) 学修成果について

- ① 建学の精神と倫理観の修得
- ② 文章理解・コミュニケーションスキル・数量的スキル・情報処理スキルなど汎用的能力の修得
- ③ 獲得した知識等を活用し、新たな課題に適応して解決する pisa 型学力の修得
- ④ 文化・社会・自然に関する知識修得と理解
- ⑤ 態度・志向性・自己管理能力・チームワークなど行動特性の獲得
- ⑥ 専門的な知識や技術・技能の修得

(D) 資格対応について

取得可能な免許・資格は以下のとおりです。  
・栄養士免許

- ・医療管理秘書士資格
- ・医事管理士資格

● 幼児教育学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

(A) カリキュラムの実施について

- ①「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践を踏まえて授業を行います。
- ② 社会人基礎力の能力要素が獲得できるような授業を行います。
- ③ 知識を活用した p i s a 型学力を修得するための授業を行います。

(B) カリキュラムの編成について

(B-1) カリキュラム編成の基本方針について

- ① 教育課程は、学則及び児童福祉法及び施行令、教育職員免許法及び施行規則で定められています。
- ② 履修科目は、大きく基礎科目と専門科目で編成されています。
- ③ 授業形態には、講義、演習、実技・実習の3種類あります。また、幼児教育あるいは保育現場の行事運営を念頭に置き、学修したことを体験的に確認するための取り組みとして「行事」も用意しています。
- ④ 各科目は体系的に配置して、高い教養と実践的な専門的知識・技能を修得できるように編成しています。

(B-2) 教養教育プログラムについて

社会人として必要な基礎教養を身に付けるための「教養科目」を設けています。

(B-3) 専門教育プログラムについて

幼児教育・保育者としての専門性を高めるため、第一系列から第五系列までの専門科目群とその他の科目で編成される「専門科目」に分かれています。

(B-4) 初年次教育プログラムについて

入学後、学生が短期大学教育に馴染めるように、少人数制による「無限の可能性開発講座Ⅰ・Ⅱ」や就職を重視した「キャリアデザイン」の科目を設けています。

(B-5) キャリア教育プログラムについて

社会的・職業的自立に向け、その基盤となる能力や態度を育成するために「キャリアデザイン」を設けています。

(B-6) リメディアル教育プログラムについて

大学の教育を受けるために必要な日本語文書の書き方、基礎的数学力などの補習教育（リメディアル講座）を実施しています。また、授業後など時間外で個別指導を実施しています。

(C) 学修成果について

- ①建学の精神と倫理観の修得
- ②文章理解・コミュニケーションスキル・数量的スキル・情報処理スキルなど汎用的能力の修得
- ③獲得した知識等を活用し、新たな課題に適応して解決する pisa 型学力の修得
- ④文化・社会・自然に関する知識修得と理解

- ⑤態度・志向性・自己管理能力・チームワークなど行動特性の獲得
  - ⑥専門的な知識や技術・技能の修得
- (D) 資格対応について
- 取得可能な免許・資格は以下のとおりです。
- ・幼稚園教諭二種免許
  - ・保育士資格
  - ・レクリエーション-インストラクター資格
- 生活デザイン総合学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）
- (A) カリキュラムの実施について
- ①「真心・努力・奉仕・感謝」の四大精神を実践を踏まえて授業を行います。
  - ② 社会人基礎力の能力要素が獲得できるような授業を行います。
  - ③ 知識を活用した p i s a 型学力を修得するための授業を行います。
- (B) カリキュラムの編成について
- (B-1) カリキュラム編成の基本方針について
- ① 教育課程は、基礎教養教育と専門教育によって編成されています。
  - ② 生活デザイン総合学科は、多様な分野の科目履修によって得られる幅広い教養を基に、学生の進路設計・進路実現に必要な専門的知識・技能が身に付けられる教育システムになっています。
  - ③ カリキュラムは、多彩な科目群の中から目的や興味に合わせて自由に科目が選択できる「カフェテリア履修」方式ですので、自分の夢の実現に向けて自らカリキュラムを作ることができます。
  - ④ 多様な学習分野の中から自分の学修プログラムを選び学ぶことで、将来の進路や自分の関心にそった学修ができ、学修意欲や探求心が強まります。
  - ⑤ 幅広い学修分野について、多面的な視野に立った学修が展開できます。
- (B-2) 教養教育プログラムについて
- ベーシックフィールドに共通ユニットと教養ユニットを置き、社会人として必要な基礎教養を身に付けることができるように健康・スポーツ、心理、社会、生涯学習、日本語、コンピュータ、日本文化等に関わる「教養科目」を設けています。
- (B-3) 専門教育プログラムについて
- 専門性を身につける人材を育成するために「情報・オフィス」「フード・インテリア」「図書館」「国際交流」「ファッション・アート」「スポーツ・医療・福祉」の6フィールドに分かれています。
- (B-4) 初年次教育プログラムについて
- 入学後、学生が短期大学教育に馴染めるように「無限の可能性開発講座Ⅰ・Ⅱ」や「学びとライフプランニングⅠ」を設けています。
- (B-5) キャリア教育プログラムについて
- 社会人としての自覚を深め、社会への適応能力や職業に対する意識を高めるために「キャリアデザインⅠ・Ⅱ」を設けています。さらに発展していけるよう

に「キャリアデザインⅢ・Ⅳ」、「インターンシップ」を2年間に亘って設け職業に対しての意識を高めています。

(B-6) リメディアル教育プログラムについて

大学の教育を受けるために必要な日本語文書の書き方、基礎的数学力などの補習教育(リメディアル講座)を実施しています。また、授業後など時間外で個別指導を実施しています。

(C) 学修成果について

- ①建学の精神と倫理観の修得
- ②文章理解・コミュニケーションスキル・数量的スキル・情報処理スキルなど汎用的能力の修得
- ③獲得した知識等を活用し、新たな課題に適応して解決する pisa 型学力の修得
- ④文化・社会・自然に関する知識修得と理解
- ⑤態度・志向性・自己管理力・チームワークなど行動特性の獲得
- ⑥専門的な知識や技術・技能の修得

(D) 資格対応について

- ① 取得可能な資格は以下の7種類です。

上級秘書士(メディカル秘書)資格、ビジネス実務士資格、情報処理士資格、ウェブデザイン実務士資格、図書館司書資格、レクリエーション-インストラクター資格、介護職員初任者研修資格

- ② 受験により取得可能な資格は以下の4種類です。

フードスペシャリスト資格、スポーツ-インストラクター資格、ピアヘルパー資格、健康管理士一般指導員

- ③ 検定は以下の21種類です。

パソコンスピード認定試験、Web デザイナー検定、色彩検定®、ネイリスト技能検定、CG クリエイター検定、TOEIC®、秘書検定、ビジネス文書検定、文書デザイン検定、日本漢字能力検定、ブライダルプランナー検定、ホスピタルコンシェルジュ®検定、商業ラッピング検定、ファッション販売能力検定、メイクセラピー検定、アロマセラピー検定、日本語ワープロ検定、プレゼンテーション作成検定、フォーマルスペシャリスト検定、リビングスタイリスト®検定、色彩技能パーソナルカラー検定®